

交通安全情報 発信へ委嘱状

パーソナリティーら105人

県警は25日、ラジオ番組やイベントで交通安全情報を発信してもらおうと放送局のパーソナリティーら105人(うち36人出席)に交通安全アドバイザー



の委嘱状を交付した写真。

県警によると、飲酒が絡んだ2010年の県内交通事故の割合は全国の約3倍。そのうち、死亡に至るケースも全国の約2・6倍と高く、「ビール一杯」から命を落とすケースもあるという。

自身も朝6時半から始まるRBCiラジオ「しゃきっとi」のリスナーという渡具知辰彦交通部長は「1回の放送で何万人ものリスナーが聴くことから、交通事故の抑止に向けて即効的な効果がある」と期待。「悲惨な交通事故を1件でも防ぎ、日本一安全な沖縄県が実現できるようご協力を」と要請した。

2011年7月26日(火) 沖縄タイムス

ラジオで安全運転伝えて FMとよみ8人へ委嘱状



ラジオ交通安全アドバイザーに委嘱されたFMとよみの関係者ら＝豊見城市・FMとよみスタジオ

豊見城

FM放送の担当番組などを通して交通安全を呼び掛けるラジオ交通安全アドバイザーの委嘱状交付式が22日、FMとよみスタジオで行われた。豊見城警察署の大屋芳夫署長が同放送パーソナリティーらに委嘱状を手渡した。

大屋署長は、番組「なかよしラジオ」に生出演。放送中、県警本部の村田隆本部長からの委嘱状を代読し、交付し

た。同社安慶名雅明社長は「番組を通して、しっかりと交通安全を呼び掛けていきたい」と述べた。

ラジオ交通安全アドバイザーは次の通り。(敬称略)
安慶名雅明(社長)、平田千春(専務)、古堅結子(社員)、運天百合香(同)、恩河龍馬(同)、よっちゃん(DJ)、知念臣一郎(同)、知念臣吾(同)。

(内間弘通信員)

2011年8月27日(二) 沖縄タイムス

交通安全に力を FMとよみ委嘱

豊見城署

【豊見城】ラジオ番組を通して交通安全を呼び掛けてほしい、と豊見城署(大屋芳夫署長)は、地域放送局・FMとよみ(安慶名雅明社長)の社員5人、パーソナリティー3人に交通安全アドバイザーを委嘱した。8月



22日、「なかよしラジオ」の放送中、安慶名社長やパーソナリティーに大屋署長が委嘱状を手渡した写真。
アドバイザーの任期は1年間。番組や各種会合などで交通安全を呼び掛ける。
大屋署長は「管内から一件でも交通事故が減るよう、リスナーに安全運転を訴えてほしい」と期待を寄せた。
安慶名社長は「リスナーの8割が運転中の人。身の破滅につながる飲酒運転をなくす決意でやっしていきたい」と話した。

2011年9月2日(金) 琉球新報